



令和5年度 石川支援学校 学校研究に係る研修会のお知らせ

研究主題（2年次）

知的障がいのある児童生徒が何を学び、何が身に付いたのかが
明確になる授業づくり

～3観点による評価規準の設定とその評価方法の在り方について～

本校では、児童生徒が何を学び何が身に付いたのかが明確になる授業づくりを目指して、研修に取り組んでいます。1年次の成果と課題を踏まえて、今年度は設定した3観点による評価規準及び評価方法に基づいて適切に評価することに加え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点に基づく手立てについても焦点を当てて、研修を進めています。多くの先生方のご意見を交わし、共に学ぶことができればと思います。

令和5年12月8日（金）9：00～16：00

（研究授業、事後研究会、講演会）

講演会

演題：各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる授業づくり


～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の手立てと

評価について～

講師：東京家政大学 教授 半澤 嘉博 氏

東京家政大学家政学部児童教育学科長・教授（学術博士）、社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会監事、元東京都教育庁指導部特別支援学校教育担当課長

詳しくは、裏面をご覧ください。



会場 福島県立石川支援学校（石川町字猫啼360-3）

日程

9:00 9:15 9:25 11:20 11:30 12:00 13:00 14:15 14:30 16:00

受付 ①	諸連絡 (体育館)	研究授業 (各会場 オンライン)	本校研究 概要説明会 (体育館)	昼食・休憩 (体育館)	研究授業事後研究会 (協議、指導助言) (各会場)	休憩 受付②	講演会 ・閉会式 (体育館)
---------	--------------	------------------------	------------------------	----------------	---------------------------------	-----------	----------------------

○研究授業

学部・学年	単元・題材名	指導者
小学部2年2組 (通常の学級)	算数科(3校時) 「どっちがながい・どっちがみじかい」	教諭 固山 有希
中学部Aグループ (通常の学級)	国語科(2校時) 「話し合いをしよう」	教諭 小針 和
高等部Bグループ (通常の学級)	数学科(2校時) 「お金の計算をしよう」	教諭 円谷 元康

○事後研究会

学部	協議内容	指導助言者
小学部	主体的・対話的で深い学びを促す手立てによって どのような資質・能力を育むことができたか	県南教育事務所 指導主事 國分 静香氏
中学部		県中教育事務所 指導主事 黒田 樹氏
高等部		東京家政大学 教授 半澤 嘉博氏

参加申し込み

別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、メール又はFAXにて11月24日(金)までにお申し込みください。

その他

- 駐車場は本校校庭となります。昼食、上履きを御持参ください。必要に応じて防寒対策を御準備ください。
- 駐車できるスペースが限られております。自家用車を御利用の方はできる範囲で乗り合わせて来校ください。
- 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止の観点から、参加者の皆様には当日朝の検温やマスクの着用、手指の消毒をお願いします。体調不良がある場合は参加をお控えください。
- 授業は別教室にてオンラインで参観していただくことになります。
- 新型コロナウイルス感染症等の流行により研修会を中止する場合には、事前に御連絡いたします。